～笑顔と夢に溢れ地域と共に歩む学校～

せんだん

HP

西部小４つのたから
大きなうたごえ　元気なあいさつ
すなおな心　つなぐ心

千代田西部小学校
R４年度　第41号
令和５年　３月16日
文責　校長　田中裕子

ひたむきな姿は感動を与える

９月の体育大会に１週間のボランティアに来てくださった佐賀大学学生の皆さん、クラスに１名ずつの配属となり、すっかり子ども達となじんでくださいました。皆さんが中高の教員志望ということで、小学生と触れ合えるのはこれが最後との思いで毎日全力投球でした。

ボランティア終了後も、６年生担当だった荻野さんは、その後も６年生の成長を卒業まで見たいと希望され、月に一度ぐらいのペースで学校に来てくださいました。卒業式に向かう子ども達を見て、「６年生の子ども達の成長に驚いた」「先生方の学級経営を間近に見られてとても勉強になる」等、子ども達との触れ合いだけでなく、教師目線でも学ばれていることが伝わってきました。

昨日は総練習を行い、本番さながらの雰囲気で最初から最後まで通したのですが、その様子をずっと見ていた荻野さん。見ながら泣いてしまいましたと言われました。何度も卒業式に参加している教員とは違い、初めて見る子ども達のひたむきな姿に心打たれたのだと思います。誰かに感動を与えられる子ども達に成長していることを大変嬉しく思います。

学力向上だよりを配布しています

２月に実施した家庭学習週間の結果分析を掲載しています。便りにも書いていましたが、「学習時間が伸びたこと」「毎日机に向かう習慣がつきつつあること」が見て取れ、学習に向かう姿勢が高まっていることを感じています。

先日、高校の合格発表がありましたが、志望校合格の喜びを西部小の子ども達にも味わい、自分の夢に近づいて欲しいと強く思いました。ある中３の保護者の方が、「みんなで頑張ろうという雰囲気がありました！」と言われていました。やはり、皆で伸びていこうという気持ちを醸成していくことが根底にあることが大切なことを再認識しました。

今後も10分×学年+10 分と毎日何かの勉強をする習慣づくりに、学校と家庭が連携して取り組んでいきたいと思います。

お礼のお電話を何人もの方からいただきました

先月、日頃のお礼をこめてメッセージカードを地域の方にお渡ししたところ、何人もの方から御礼のお電話をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

いつも温かく学校のことを見てくださっていることがお電話から伝わってきて嬉しく思いました。どうぞこれからもご支援をよろしくお願いいたします！

感動のお別れ式

16 日は1～３年生とのお別れ式でした。子ども達の歌声が体育館に響き渡り、感動の式となりました。

一生懸命６年生を見つめる目は真っすぐに自分のリーダーに向かっていました。この1年間を思い出しながら会に参加してくれました。子ども達の真心は伝わっていると思います。

ほのかさんの言葉に皆聞き入りました。

６年生の修了式

毎年、６年生に対して卒業面談を行います。そして今年度も子ども達が話してくれた内容を使って、修了式の最後の話の原稿を作りました。子ども達の夢、尊敬する人、友人等について紹介した後、なかなか普段は出せない先生のことについて紹介しました。

梅﨑先生とは２年間一緒にいただけあって、思いの深さが伝わってきました。皆、このクラスが大好きなことが伝わってきました。

野口先生、有賀先生に対しても深い信頼が感じられるメッセージでした。

皆に幸あれと願いながら式を終えました。